

谷

無数の手が生え
谷を埋め尽くす

風刺的な午後の陽射しが
頹廢的な気分を包む

散乱している物体以外は
つまらぬほど何も変わっていない

かつて活気を呈していた・・・
いや、くすぐられていただけだ

人々は何故か^{いま}現在
朽ちてゆくことを怖れている

権力ではないものが
秩序を求めて喘いでいる

生え突き出た手は
ぐーちょきばあ、をしている

谷からゆるゆると
黄緑色の液体が這い出てくる

肉欲のような空が
谷に覆い被さって来るようだ

私はずっと、嬉々として
逃亡を楽しんできたに過ぎない

もちろんそれは
常に用意されていたからに他ならない

あれら無数の手によって
快楽へと導かれてきたからに他ならない

見よ
悶々とした本能がそそり立っている

(2010.11.27)